

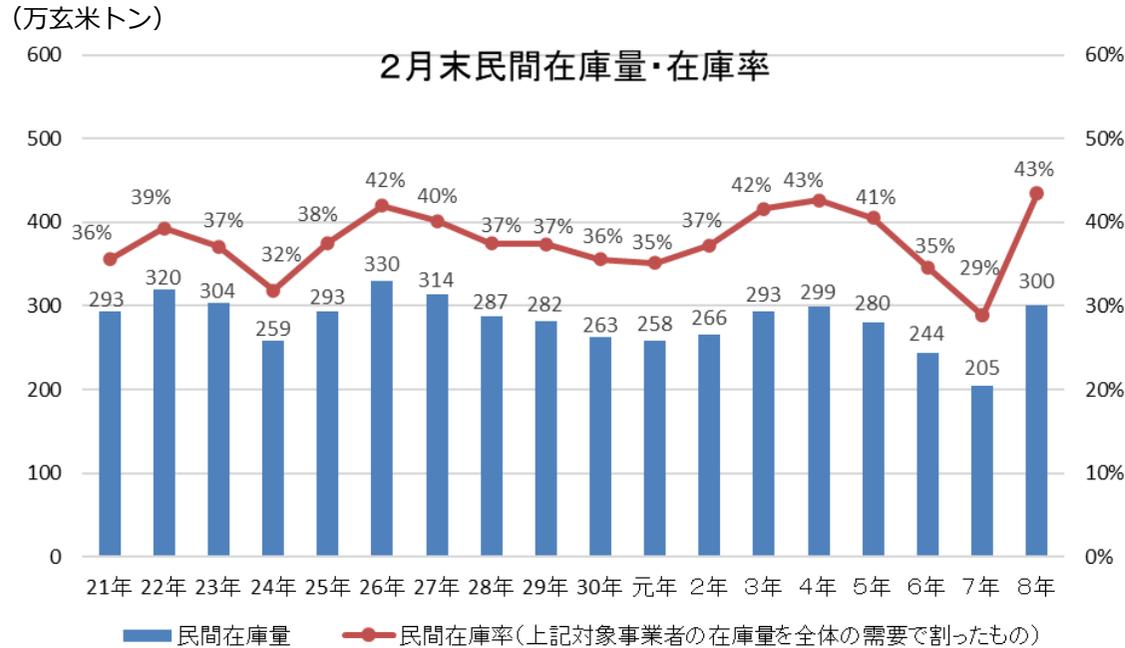
令和8年2月末民間在庫量のポイント

- 令和8年2月末の民間在庫量は対前年同月+95万玄米トンの300万玄米トンと、近年では最も高い在庫水準。
- 段階別にみると、出荷段階は233万玄米トン、販売段階は67万玄米トンであり、販売段階の在庫量は例年の同時期（40～50万トン程度）に比べ高い水準で推移。

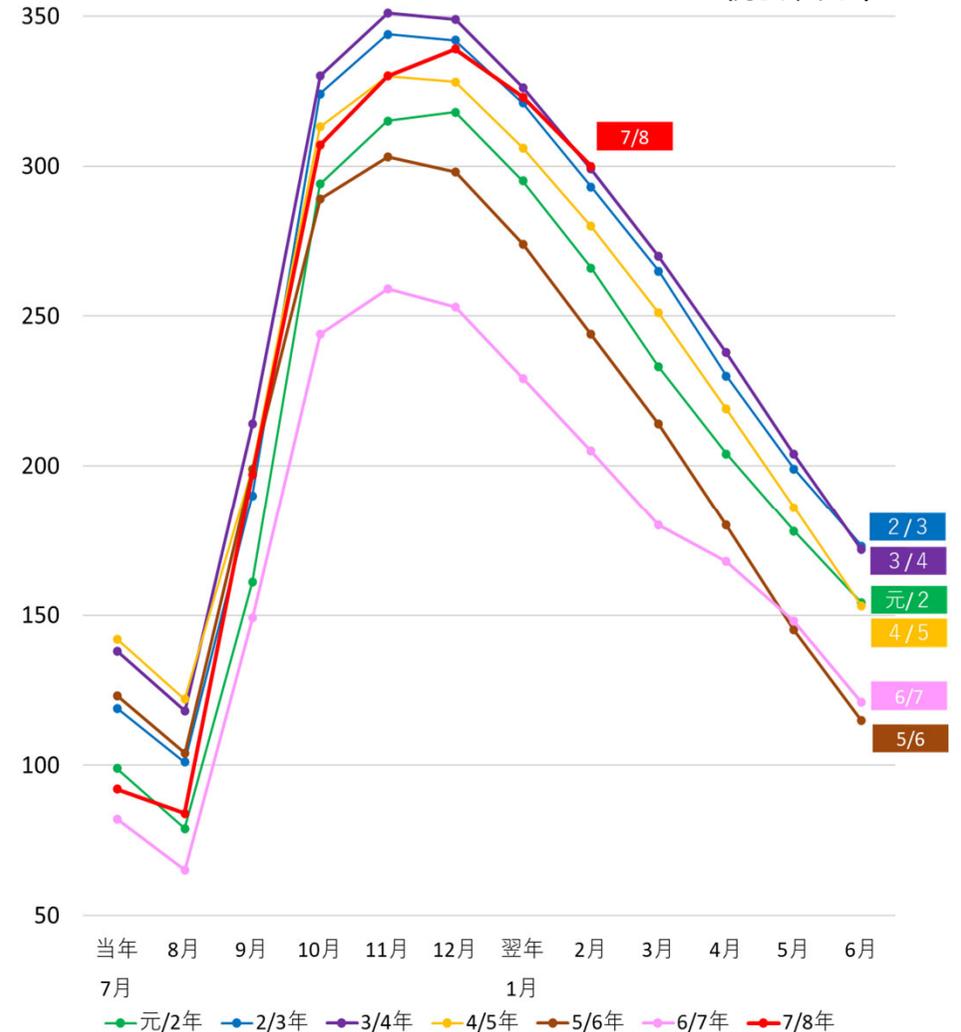
※ 在庫率は上記対象事業者の在庫量を全体の需要で割ったもの。

○ 出荷・販売段階別の民間在庫量（うるち米）

	（万玄米トン）		
	出荷段階	販売段階	合計
7年2月末	159	46	205
前年差	▲ 43	+4	▲ 39
8年2月末	233	67	300
前年差	+74	+21	+95



○ 民間在庫量の月別の推移（うるち米）（万玄米トン）



※22年以前は、政府備蓄米の運営を回転備蓄方式で実施していたため、政府備蓄米がこの他に主食用米として販売されている。
 ※出荷段階は玄米仕入数量が500トン以上の集荷業者等、販売段階は玄米仕入数量が4,000トン以上の卸売業者等を対象。
 ※令和8年の在庫率は、7/8年の需要見通し（691～704万玄米トン）により算出。
 ※令和8年は、売り渡した政府備蓄米（入札及び随意契約による売渡し分）の数量（0.1万玄米トン：全て販売段階）を含む。

(参考) 毎月公表している民間在庫量の調査対象の範囲

(単位：万玄米トン)

	出荷段階		販売段階		生産段階
	年間取扱 500玄米トン以上		年間取扱 4,000玄米トン 以上	年間取扱 500~ 4,000玄米ト ン	
うるち米	<p>【毎月調査ベース】</p> <p>6月末在庫 121万トン → 2月末在庫 300万トン (対前年+95万トン)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; text-align: center;"> <p>【出荷段階】</p> <p>6月末 84万トン</p> <p>↓</p> <p>2月末 233万トン (対前年+74万トン)</p> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; text-align: center;"> <p>【販売段階】</p> <p>6月末 37万トン</p> <p>↓</p> <p>2月末 67万トン (対前年+21万トン)</p> </div> </div>				
もち米					

155万トン
(※ 6月末のみ調査)